

事業所名

放課後等デイサービス らいとほうす山形

支援プログラム

作成日

2024

年

11

月

1

日

法人（事業所）理念	<p>放課後等デイサービスは、障害のある小学生から高校生の子どものたちが放課後に通所し、児童福祉法に基づき必要な療育・支援を行う福祉サービスです。「らいとほうす山形」では、学校でも家庭でもない第三の居場所として、活動をしています。指導員は「子どもたちは成長する」という考えのもと、子どもたち（の力）を信じ認めながら一人ひとりに合わせた支援をしています。子どもたちは、周りに信じてもらえるという安心感の中で自分を表現し、自尊感情の再構築、自己肯定感を獲得し、自分の課題に向き合いながら成長していきます。やがて、自ら子どもらしい素直さと健全さを発揮していけるようになって考えています。また、自尊感情の再構築・獲得は、情緒の安定や自発（内発）性、社会性などの基礎づくりになると考えています。</p> <p>指導員と一緒に楽しく遊ぶこと、運動することを活動の中心とし、遊びや各種運動で、ストレスの軽減や、感覚統合、身体能力の向上を図ります。集団スポーツでは、自己肯定感や自己有用感を育て、また、指導員との信頼関係を基礎とした関わりは、将来自立した生活を営み、人のために役立つという本当の自己実現に向けて大切な経験になると考えています。</p>					
支援方針	<p>施設を利用する子どもたちの多くは、軽度の発達障害や知的障害があります。その為、活動の中でストレスを感じていると思われる行動や、気になる行動も多く見られます。私たちは、それらが障害の特性なのか二次的障害なのかを考え、障害には障害に合った対応を、また二次的障害であれば、軽減や改善ができないかと考えて支援します。具体的には、まず子どもに安心して自分を表現して良い場所であることを知ってもらうことです。次に指導員との関わりの中で個別の支援・療育を計画していきます。障害には、その子の状態を見て認めることから始めます。二次的障害には、その子が必要とすることに応えることで、その子の発達に寄り添います。愛着行動を存分に経験したり、認められ誉められたりする体験を通して自尊感情や自己肯定感が獲得できるように支援していきます。またこれらを基礎として、集団スポーツでは、子どもたちは発達段階に沿って、相互の認め合いから自己有用感を獲得し、自己実現を達成していきます。</p>					
営業時間	10時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	○あり なし
個別支援計画項目	支援内容					
本人支援	日常生活・遊び (健康・生活・認知・行動) (社会性)	<p>指導員との信頼関係を基礎とした自由遊びが支援の中心となります。特にストレスを抱えていたり、二次障害により問題行動を表出している子どもには、信頼関係を築きながら安心して自由に自分の気持ちを出したり、やりたいことができたりするような支援を行なっていきます。表出された気持ちや行動を、受け止め認めてもらうことで、気持ちの安定が図られると共に、自尊感情が育ち、生活の中の行動が優しくなり、社会性も自分から発揮できるように支援していきます。</p>				
	運動について (運動・感覚)	<p>運動でも、指導員と楽しく安心して活動することが基本ですが、ルールを守って一緒に活動することも大切にします。一人一人の運動能力に応じたところからスタートし、運動をすることでストレスの発散はもとより、様々な運動やスポーツをすることで体力の向上や体幹の安定、運動調整や感覚統合にもつながります。また、様々な活動を通し、一人一人に適したスポーツが見えてくることで、部活動やスポ少等を視野に入れ目標を持つ事にも繋がります。指導員や周りの子どもたちから認められ自己肯定感の獲得につながり、更に試合などチームでの活動は、友だちから認められたり友だちを認めることで、社会性や自己有用感の獲得につながります。</p>				
	コミュニケーション (言語・コミュニケーション・人間関係・社会性)	<p>コミュニケーションも指導員との信頼関係が基本ですが、大切なことは、子どもが安心して自分を出せる場所と感じられることです。もう一つのコミュニケーションの基本は、子どもの言葉や行動に表れた気持ちや考えを受け止め応えることだと考えます。このことにより、より自分が認められているという自尊感情が育ち、自立に向けての自己肯定感や社会性などの獲得に繋がっていくと考えます。将来子どもたちが自発的（内発的）に社会性を発揮し自己実現できる支援ができると考えます。</p>				
	専門的支援 (作業療法士による)	<p>専門的支援による療育は、【生活動作の向上】【運動機能の向上】を考えています。生活動作では手先の訓練を中心とし、日常生活に必要なスキルを身に付けます。運動機能では、筋力や体幹、バランスや柔軟性等を伸ばし、基本的な体の動かし方学びます。運動機能の向上や生活力を獲得し困り感を改善できる事を増やし、自信に繋げていけるよう支援しています。</p>				
	食育	<p>生きていく上で必要となる健康な身体や心を育むために医食同源の考えを大切にしています。好き嫌いを少なくし、見た目での拒否感や体験不足による戸惑い、偏食や極端な少食に日々バランスよく食べられるように食材の美味しさや食の大切さを知り、食べる喜びを感じてもらえる事を目指しています。</p>				
家族支援	移行支援	<p>私たちの施設は、小学校から高校卒業までの子どもが在籍する施設です。子どもたちは、ここで大切な経験をして社会に出ていきます。将来、社会で人と信頼関係を結び、人の為に役立つことを考えられる人に育つことを目指しています。それまでに自分に自信を持ち、社会に明るく元気に出て行けるように支援をし見守っていきます。</p>				
地域支援・地域連携	職員の質の向上	<p>この会社の理念を理解し共有し実践するために、月一回の研修日を設け、発達や障害の研修及びケース会を行なっています。一人の子どもに焦点を当て自由に意見を出し合うことで、子どもの理解とともに自己啓発する良い機会としていきます。時間的に難しいこともあります。外部機関の研修にも参加できる時には参加するように計画しています。</p>				
主な行事等	<p>保護者：前期面談/後期面談（約1時間）契約月に合わせて実施 利用者：避難訓練（火災、地震）、春：お花見、夏：夏休み特別イベント、夏祭り、秋：お月見、ハロウィン、冬：クリスマスパーティー、大掃除</p>					